

北日本新聞改題80周年記念
西洋絵画400年の旅 ー珠玉の東京富士美術館コレクション展ー
2020年5月23日(土)ー7月5日(日)

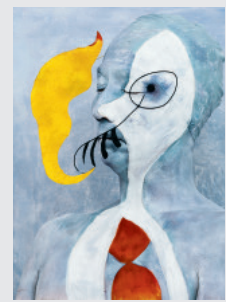
日本屈指の西洋絵画コレクションで知られる東京富士美術館（東京都八王子市）の名品の中から、厳選した珠玉の作品83点により、16世紀後半から20世紀までの西洋絵画400年の歴史をご紹介します。世界の美術ファンを魅了するモネ、ルノワール、セザンヌ、ゴッホ、ゴーガン、シャガールなど近代の人気作家に加え、それ以前の、ティントレット、フランス・ハルス、アントニー・ヴァン・ダイクなど巨匠たちの作品も展示します。広大で奥深い西洋絵画の世界をどうぞお楽しみください。

- 一般 1,400 (1,200) 円
- 大学生 1,000 (800) 円
- 一般前売り 1,200 円
- ※ ()内は20名以上の団体料金
- ・ 本展観覧券提示により、同時開催の「国際工芸アワードとやま 2020」展もご覧いただけます。

森村泰昌のあそぶ美術史 ーほんきであそぶとせいかいはわるー
2020年3月7日(土)ー5月10日(日)
(4/23-5/6 は無休)

世界的に活躍する美術家・森村泰昌をゲストキュレーターに招き、コレクションを活用した企画展。『ほんきであそぶ』をテーマに、様々な固定観念からはなれて、頭と心をやわらかくして美術作品と接する機会です。この会場でしか見られない仕掛けが満載。ハラハラ、ドキドキの美術鑑賞＝「あそび」の場に、ぜひお越しください。

- 一般 900 (700) 円
- 大学生 450 (350) 円
- ※ ()内は20名以上の団体料金



森村泰昌《ほんきであそぶとせいかいはわる(ミロ A)》2020年 当館蔵



クロード・モネ《雨》
1908年 油彩・カンヴァス
東京富士美術館所蔵 ©東京富士美術館
イメージアーカイブ/DNPartcom

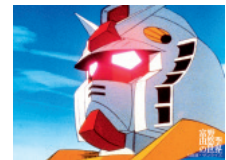


アントニー・ヴァン・ダイク
《ベッドフォード伯爵夫人 アン・カーの肖像》1639年 油彩・カンヴァス
東京富士美術館所蔵 ©東京富士美術館
イメージアーカイブ/DNPartcom

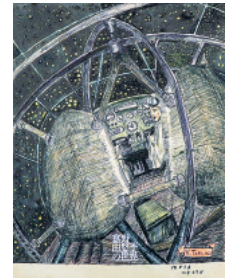
よ し ゆ き
富野由悠季の世界
2020年7月18日(土)ー9月6日(日)

アニメーション映画監督、脚本家、作詞家として様々な作品に関わった富野由悠季(1941年神奈川県生まれ)の半世紀以上にわたる仕事を回顧する展覧会を開催します。本展では、「アニメーションは映画だ」という思いを軸に展開されてきた作品と制作のあゆみを、6つの章で紹介します。少年時代の創作、TVアニメの演出家としてデビューを果たした『鉄腕アトム』など初期作品から、昨年40周年を迎えた代表作『機動戦士ガンダム』シリーズ、近年の監督作品まで、直筆の絵コンテ、仕事を共にしてきたクリエイターたちのデザイン画、資料など計約3000点を通してその仕事の全容に迫ります。

- 一般 1,400 (1,200) 円
- 大学生 1,000 (800) 円
- 一般前売り 1,200 円
- ※ ()内は20名以上の団体料金



『機動戦士ガンダム』
© 創通・サンライズ



富野由悠季「宇宙船コックピット」
(1954年) ©オフィス アイ

森村泰昌のあそぶ美術史
3/7-5/10

西洋絵画の400年の旅
5/23-7/6
国際工芸アワードとやま 2020
5/23-7/6

富野由悠季の世界
7/18-9/6

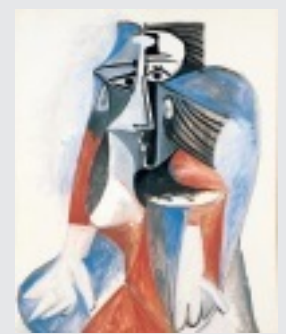
TADのベスト版
9/19-11/3

石岡瑛子
血が、汗が、涙がデザインできるか
11/14-1/11

START☆みんなのミュージアム
1/23-2/28

TADのベスト版 コレクション+(プラス) ーあなたならどう見る?ー
2020年9月19日(土)ー11月3日(火・祝)

当館を代表する収蔵作品を未だかつてない規模で紹介します。また、アーティスト等とのコラボレーションにより、より一層コレクションやアート、美術館に親しんでいただける+αの仕掛けを計画中です。これまで足を運んでくださった方も、初めてご来館いただく方も、鑑賞の楽しさと新たな発見を感じていただける展覧会を目指します。



パブロ・ピカソ《座る女》
1960年 当館蔵
©2020-Succession Pablo Picasso - BCF(JAPAN)

- 一般 900 (700) 円
- 大学生 450 (350) 円
- 一般前売り 700 円
- ※ ()内は20名以上の団体料金

石岡瑛子 血が、汗が、涙がデザインできるか
2020年11月14日(土)ー2021年1月11日(月・祝)

東京に生まれ、アート・ディレクター、デザイナーとして広告、舞台、映画、グラフィック・デザインなど多岐に渡る分野で、新しい時代を切り開きつつ世界を舞台に活躍した、石岡瑛子(1938-2012)の初の大規模な回顧展。時代を画した資生堂やバルコをはじめとする初期の広告キャンペーンから、映画、オペラ、演劇、サーカス、ミュージックビデオ、オリンピックのプロジェクトなど、その唯一無比の個性と情熱が刻印された仕事を総覧します。

- 一般 1,100 (850) 円
- 大学生 550 (420) 円
- 一般前売り 850 円
- ※ ()内は20名以上の団体料金

START☆みんなのミュージアム2021
2021年1月23日(土)ー2月28日(日)

学校 (School) × 富山 (Toyama) × アート (ART) = “START”。富山県内の小・中・高・特別支援学校の協力のもと、学校の児童生徒のみならずが主役の展覧会の第4回展です。学校とアーティストのコラボレーションによる作品展示や、ワークショップなど、2021年初春の富山県美術館にはアートを体感できる仕掛けがいっぱい。子どもも大人も先生たちも、めざせ☆美術館のスター。
招待作家：KOSUGE1-16
川越ゆりえ

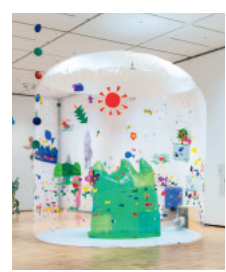
- 一般 500 (400) 円
- 大学生 250 (200) 円
- ※ ()内は20名以上の団体料金



石岡瑛子 ポスター《西洋は東洋を驚かせるか》(バルコ、1979年)



石岡瑛子 映画「白雲姫と緑の女王」
(ターセム・シン監督、2012年) 衣装デザイン
Photo by Jan Thijs ©2012-2020 UV RML
Films dba Relativity Media.
All Rights Reserved.



START☆みんなのミュージアム2020
展示風景